

横浜市立幸ヶ谷小学校 学校だより

7月号

# KOU KOU Newsletter

学校教育目標:「自分 友だち 社会の幸せをつくる子ども」

令和6年6月28日発行  
横浜市立幸ヶ谷小学校  
TEL (441)3170  
FAX (441)9896



## 継続的な学び

校長 谷石 宏之

6/20(木)、21(金)に、6年生が片品体験学習に行っていました。天候が心配され、交通渋滞に巻き込まれてしまいましたが、二日目の農業体験以外は、予定通りに様々な体験活動に取り組むことができました。

たった一泊二日かもしれませんが、子どもたちの行動に変化や成長が見られました。ある女子は、一日目は川の周りで遠巻きに見ただけでしたが、二日目には石を飛び越えつつ、水の冷たさを体感していました。ある男子は、小さな虫を見るたびに、むきになって追い払っていましたが、帰る頃には、動じなくなっていました。また、団体行動では、周りの友達のことを思いやりながら声をかけ合ったり、現地ボランティアの方や宿の方、バスの運転手の方に、声を出してお礼のあいさつを実践したりしている姿が増えていたような気がします。

4・5年生の宿泊体験学習を振り返っても同様で、張りきった子どもたちの行動がたくさんありました。自然を楽しみ、友達と声をかけ合い、楽しみ、盛り上がる姿…。

宿泊体験学習、という特別な行事だからこそ、力を発揮できているのかもしれませんが、家庭、地域での地道な声かけが積み重なり、言動に表れていると感じています。合わせて、幸ヶ谷小が日常の学校生活で大切にしている「体験を通した学び」が、学校を離れた場面でも活かしているのではないかと感じました。

一方で、宿泊体験学習で見られた素晴らしい子どもたちの言動は、今後、家庭や地域、学校で発揮できるはずです。子どもたちを取り巻く大人が「継続的な学び」を実現できるように、一致団結しなければならないと強く感じました。同時に1、2、3年生に対しても、先を見通し、日々の教育活動に取り組まなければならないことを改めて意識できました。



片品で受けたおもてなし

6/15(土)「幸ヶ谷共育倶楽部」の創立15周年を兼ね、環境委員児童有志が参加し、「シドモア桜」の植樹式を実施いたしました。「シドモア桜」は、「日米友好の象徴」と呼ばれ、アメリカ人紀行家のエリザ・R・シドモアが、日本の桜を広めようと横浜港から移植したものです。現在、ワシントンのポトマック河一帯に桜並木が続いていることはご存じの方も多と思います。今後、里帰りということで横浜市18区に植樹を行うそうですが、神奈川県では幸ヶ谷小が選ばれ、今回の植樹とつながりました。「継続的な学び」という点では、過去と未来という歴史的な視点、日本とアメリカという国際的な視点で、教育活動につなげていけるのではないかと考えています。学校にお越しの際に、興味のある方は、ぜひご覧ください。

梅雨に入り、体調を崩しやすくなる時期です。気持ちもジメジメとしがちですが、新たな目標をもちながら、教育活動を進めてまいります。